

# 『多発性硬化症患者におけるセルフマネジメントの関連要因の解明』 質問紙調査へのご協力をお願い

各位

謹啓

私は名古屋市立大学大学院看護学研究科 博士後期課程の井狩知幸と申します。

この度、多発性硬化症患者さんのセルフマネジメントの関連要因に関する研究を実施したいと考えております。セルフマネジメントとは、患者さんご自身が疾患を管理して、上手に疾患と付き合っていくことです。本研究は、多発性硬化症患者さんのセルフマネジメント力向上のための具体的な支援策を考える際の一助になると考えております。

研究の実施にあたって、質問紙調査にご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

ご協力いただきたいのは、以下の点です。

- 多発性硬化症患者さんのセルフマネジメントの関連要因に関する質問紙へのご回答

ご許可いただきたいのは、以下の点です。

- 研究代表者が医療情報(EDSS、病型、罹病期間)を研究対象者の主治医より情報を得ること

本研究の趣旨および倫理的配慮は下記の通りです。

- 本研究の目的は、多発性硬化症患者さんにおけるセルフマネジメントの関連要因を明らかにすることです。本研究により、看護者が患者さんの実施するセルフマネジメントに効果的に介入することが可能となり、患者さんのセルフマネジメント力向上への寄与が期待できると考えております。
- 本研究への参加は任意であり、辞退されたとしても不利益を被ることは一切ございません。
- 本研究に参加することで、各患者さんが疾患と対することに心理的(時間的)な負担を感じてしまう恐れがあります。そうした場合に、質問紙への回答を途中で中止しても不利益を被ることは一切ございません。
- 本研究にご協力いただきました謝礼として、500 円の図書カードを差し上げております。受け取りの際にご署名いただきますが、厳重に保管し、本研究以外で使用することは一切ございません。
- 医師より医療情報を提供してもらうために、質問紙番号とお名前を結びつけた対応表を作成させていただいております。対応表は厳重に管理し、病院外に持ち出すことはございません。また、本研究以外で使用することは一切ございません。

本研究に参加されるにあたり、以下の点をご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

- 本研究結果は、個人が特定されない形で学会や学術雑誌などで公表させていただく予定です。
- 研究で得られた情報は、論文等の発表から 10 年まで保管いたします。

本研究の趣旨を理解し、ご協力いただける場合は、別紙の質問紙にお答えいただきますようお願い申し上げます。

何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

季節柄、どうぞご自愛ください。

謹白

ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお知らせください。

研究代表者: 名古屋市立大学大学院看護学研究科 指導教員:名古屋市立大学大学院看護学研究科  
博士後期課程 井狩知幸 慢性看護学分野 教授 安東由佳子  
住所:名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 e-mail:yukakoa@med.nagoya-cu.ac.jp  
電話:052-853-8038(看護学部事務室)  
e-mail:c216801@ed.nagoya-cu.ac.jp

研究協力施設: 関西医科大学総合医療センター 脳神経内科  
藤井 ちひろ、近藤 誉之  
電話:06-6992-1001